

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月17日

協議会名: 石狩市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
石狩市	<p>【浜益南北方面】 予約制デマンド方式 雄冬や柏木などの各戸から幹線交通に接続または浜益温泉や診療所などまで運行</p> <p>【浜益東方面】 予約制デマンド方式 浜益、柏木、川下、実田、御料地各戸から幹線交通に接続または浜益温泉、診療所などまで運行</p> <p>【厚田方面】 予約制デマンド方式 浜益区内各戸から北海道中央バス札厚線に接続</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策と周知の両立を図るよう努めた。</p> <p>感染症対策では、車内換気に努めたほか、車内にビニールカーテンを設置し飛沫感染の予防に努めたほか、利用者に手指消毒を徹底するよう協力を求めた。</p> <p>利用者増加に向けた周知では町内回覧の実施やポスター及び名刺サイズの周知カードを公共施設に設置した。</p>	<p>B</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおりに実施されていない点があった。</p> <p>浜益南北方面及び浜益東方面では計画運行回数を上回ったが、厚田方面では計画運行回数を下回った。</p>	<p>C</p> <p>【事業の目標】 年間利用者数(10月～9月) 目標:1,392人 実績:1,232人</p> <p>目標よりも実績の利用者人数が少なかった。要因としては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために講じられた自粛要請等により不要不急の外出を控えたことが考えられる。</p>	<p>引き続き、住民のニーズの把握に努め、利便性等向上に向けて改善を図っていくとともに、利用者増に向けて回覧等で周知を図る。</p> <p>また、引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を徹底し、利用者が安心して乗車できるように努める。</p>